

PAT-NO: JP406156925A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06156925 A

TITLE: GUIDE RAIL SUPPORTING DEVICE

PUBN-DATE: June 3, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAGASE, ATSUSHI

KANAYAMA, RYOETSU

KUROKAWA, KATSUSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HITACHI BUILDING SYST ENG & SERVICE CO N/A

LTD

APPL-NO: JP04309008

APPL-DATE: November 18, 1992

INT-CL (IPC): B66B007/02

US-CL-CURRENT: 187/406

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a guide rail supporting device of which the number of rail clips can be reduced.

CONSTITUTION: This guide rail supporting device is provided with a base part 3 which is contacted with the bottom face of the bottom flange 2 of a guide rail 1 standingly provided in an elevator passage, a folding back piece 4 which is provided in one body with the base part 3 and elastically holds one side part of the bottom flange 2, and a rail clip 6 which is fastened to the base part 3 through a bolt 5 and presses the other side part of the bottom flange 2 in the direction of the base part 3. One side part of the bottom flange 2 is elastically held between the base part 3 and the folding back piece 4, and the other side part of the bottom flange 2 is held between the rail clip 6 and the base part 3. Thereby, the fixing work of the guide rail standingly provided in an elevator passage can be easily executed.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-156925

(43)公開日 平成6年(1994)6月3日

(51)Int.Cl.⁴
B 6 B B 7/02識別記号 庁内整理番号
C 9243-3F

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-309008

(22)出願日 平成4年(1992)11月18日

(71)出願人 000232955

株式会社日立ビルシステムサービス
東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72)発明者 長瀬 厚史

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株
式会社日立ビルシステムサービス内

(72)発明者 金山 良悦

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株
式会社日立ビルシステムサービス内

(72)発明者 黒川 克志

東京都葛飾区金町1丁目3番8号 日立エ
レベータテクノサービス株式会社内

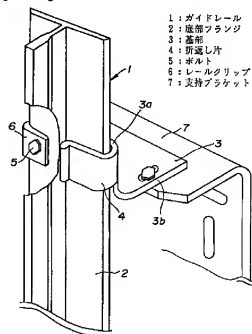
(74)代理人 弁理士 武 顕次郎 (外2名)

(54)【発明の名称】 ガイドレール支持装置

(57)【要約】

【目的】 レールクリップの個数を少なくできるガイド
レール支持装置を得る。【構成】 昇降路内に立設されるガイドレール1の底部
フランジ2の底面に当接する基部3と、この基部3と一
体に設けられ、前記の底部フランジ2の一方の側部を弾
性的に把持する折返し片4と、前記の基部3にボルトを
介して締結され、この基部3の方向へ前記の底部フラ
ンジ2の他方の側部を押圧するレールクリップ6とを備
え、前記の底部フランジ2の一方の側部を基部3と折返
し片4との間で弾性的に把持するとともに、レールクリ
ップ6および基部3により前記の底部フランジ2の他方
の側部を保持するようにした。【効果】 昇降路内に立設されるガイドレールの固定作
業を容易に実施できる。

【図1】



【特許請求の範囲】

【請求項1】 エレベータの昇降路内に立設されるガイドレールを支持するガイドレール支持装置において、前記ガイドレールの底部フランジの底面に当接する基部と、この基部と一体に設けられ、前記底部フランジの一方の側部を弾性的に把持する折返し片と、前記基部にボルトを介して締結され、この基部の方向へ前記底部フランジの他方の側部を押圧するレールクリップとを有することを特徴とするガイドレール支持装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、エレベータの昇降路内に立設されるガイドレールを支持するガイドレール支持装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えば実開昭55-11994号公報に記載されているように、ガイドレールの底部フランジの両側部をそれぞれ保持する一対のレールクリップを備えたエレベータのガイドレール支持装置が提案されている。なお、一般にエレベータにあっては、ガイドレールを構成するレール部材が通常5m程度の長さであり、各レール部材を上部、下部の2箇所ガイドレール支持装置により支持ブラケットに固定するようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、近年エレベータが据付けられるビルが高層化される傾向があることから、エレベータのガイドレールが長くなりつつあり、このガイドレールを構成する多くの本数のレール部材を固定するのに多くの個数のガイドレール支持装置が必要である。例えば15階建てのビルの場合、左右一対のガイドレールに計18本のレール部材を要し、これらのレール部材を支持ブラケットに固定するのに36個のガイドレール支持装置が必要である。

【0004】 そして、上述した従来のガイドレール支持装置では、それぞれ2個のレールクリップを備えることから、例えば15階建てのビルの場合に計18本のレール部材を固定するのに72個もの多くのレールクリップを要し、このレールクリップを取り扱う手間が煩雑であるため、ガイドレールを固定する作業に多くの労力が必要であるという問題があった。

【0005】 本発明はこのような従来技術における実情に鑑みてなされたもので、その目的は、多くの個数のレールクリップを要せずに、昇降路内に立設されるガイドレールを支持することのできるガイドレール支持装置を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために本発明は、エレベータの昇降路内に立設されるガイドレールを支持するガイドレール支持装置において、前記

ガイドレールの底部フランジの底面に当接する基部と、この基部と一体に設けられ、前記底部フランジの一方の側部を弾性的に把持する折返し片と、前記基部にボルトを介して締結され、この基部の方向へ前記底部フランジの他方の側部を押圧するレールクリップとを有する構成にしている。

【0007】

【作用】 本発明は上記のように構成したので、ガイドレールの底部フランジの底面を基部に当接させて、この基部と折返し片との間に前記の底部フランジの一方の側部を挿入させることによりこの一方の側部を弾性的に把持するとともに、前記の基部にボルトを介してレールクリップを締結し、このレールクリップにより前記の底部フランジの他方の側部を前記の基部の方向へ押圧する。これによって、これらの折返し片およびレールクリップによりガイドレールの底部フランジが保持される。したがって、昇降路内に立設されるガイドレールを支持するのに多くの個数のレールクリップを要せずに済み、レールクリップを取り扱う手間が少なくなるので、ガイドレールを固定する作業を容易に行うことができる。

【0008】

【実施例】 以下、本発明のガイドレール支持装置の実施例を図に基づいて説明する。図1は本発明のガイドレール支持装置の一実施例を示す斜視図、図2は図1のガイドレール支持装置の配置状態を示す正面図である。なお、図1は図2のガイドレール支持装置のA部分を示す斜視図である。

【0009】 図1に示す本実施例のガイドレール支持装置は、図示しない昇降路内に立設されるガイドレール1の底部フランジ2の底面に当接する基部3と、この基部3と一体に設けられ、前記の底部フランジ2の一方の側部を弾性的に把持する折返し片4と、前記の基部3にボルト5を介して締結され、この基部3の方向へ前記の底部フランジ2の他方の側部を押圧するレールクリップ6とを有している。前記の基部3は、底部フランジ2の底面に当接し、前記の折返し片4を有する縦板3aと、昇降路壁に固定される支持ブラケット7に締結される横板3bとから一体に構成されている。そして、このガイドレール支持装置は、図2に示すように、交互に左右反転した状態で、ガイドレール1に沿って順次設けられている。すなわち、図2の下部のガイドレール支持装置は、ガイドレール1の向かって右側にレールクリップ6、左側に折返し片4を備え、図2の中央部のガイドレール支持装置は、ガイドレール1の向かって右側に折返し片4、左側にレールクリップ6を備え、図2の上部のガイドレール支持装置は、ガイドレール1の向かって右側にレールクリップ6、左側に折返し片4を備えている。

【0010】 この実施例にあっては、ガイドレール1の底部フランジ2の底面を基部3に当接させて、この基部3と折返し片4との間に前記の底部フランジ2の一方の

3

側部を挿入させることによりこの一方の側部を弾性的に把持するとともに、ボルト5を介して前記の基部3にレールクリップ6を締結し、このレールクリップ6により前記の底部フランジ2の他方の側部を基部3の方向へ押圧する。これによって、これらの折返し片4およびレールクリップ6によりガイドレール1の底部フランジ2が保持される。

【0011】このように構成した実施例では、ガイドレール1の底部フランジ2の一方の側部を折返し片4により弾性的に把持できることから、前記のガイドレール1を支持するのに多くの個数のレールクリップ6を要せずに済み、これらのレールクリップ6を取り扱う手間が少なくなるので、ガイドレール1を支持ブラケット7に固定する作業を容易に行うことができる。

【0012】なお、本実施例では、図2に示すように、交互にレールクリップ6および折返し片4の位置を左右反転した状態で順次設けるようにしたが、図示しない昇降路内機器との位置関係などから、必ずしも交互にレールクリップ6および折返し片4の位置を左右反転する必要はない。すなわち、これらのレールクリップ6および折返し片4の位置を適宜左右反転して配置することもでき、あるいはレールクリップ6および折返し片4の位置を左右反転することなく、ガイドレール支持装置を順次

4

配置することもできる。

【0013】

【発明の効果】本発明は以上のように構成したので、ガイドレールの底部フランジの両側部を折返し片およびレールクリップによりそれぞれ保持することから、このレールクリップの個数を一對のレールクリップを要する従来の場合と比べて半減させることができ、これらのレールクリップを取り扱う手間が少なくなる。したがって、昇降路内に立設されるガイドレールの固定作業を容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のガイドレール支持装置の一実施例を示す斜視図である。

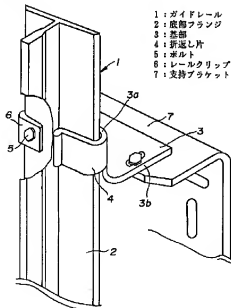
【図2】図1のガイドレール支持装置の配置状態を示す正面図である。

【符号の説明】

- 1 ガイドレール
- 2 底部フランジ
- 3 基部
- 4 折返し片
- 5 ボルト
- 6 レールクリップ
- 7 支持ブラケット

【図1】

【図1】



【図2】

【図2】

